

製品名: c-Myb (リン酸化 Ser12) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04476**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	MYB
別名	MYB; Transcriptional activator Myb; Proto-oncogene c-Myb
遺伝子 ID	4602.0
SwissProt ID	P10242
免疫原	抗血清は、ヒト MYB の Ser12 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

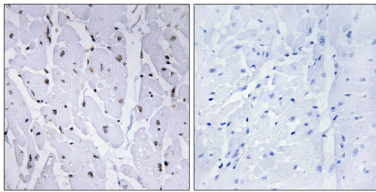
この遺伝子は、転写調節因子として機能する 3つの HTH DNA 結合ドメインを持つタンパク質をコードしています。このタンパク質

は造血調節において重要な役割を果たしています。この遺伝子は、白血病やリンパ腫において異常発現、再編成、または転座を起こす可能性があり、がん遺伝子であると考えられています。選択的スプライシングによって複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2016年1月],ドメイン: N末端 DNA 結合ドメイン、中央に位置する転写活性化ドメイン、および転写抑制に関与する C末端ドメインの3つのドメインで構成されています。機能: 転写活性化因子。5'-YAAC[GT]G-3'配列を特異的に認識する DNA 結合タンパク質。造血前駆細胞の増殖と分化の制御に重要な役割を果たす。PTM:NLKによって複数の部位がリン酸化され、プロテアソーム分解を誘導する。PTM:ユビキチン化され、SIAH1によって媒介され、その後プロテアソーム分解を誘導する。類似性:3つの HTH myb 型 DNA 結合ドメインを含む。サブユニット:MYBBP1A に結合し、HIPK2、MAF、NLK と相互作用する。、

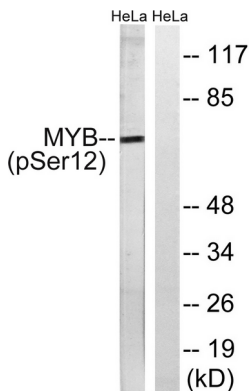
研究分野

PI3K/Akt; タンパク質アセチル化

画像データ



MYB (リン酸化 Ser12) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



MYB (リン酸化 Ser12) 抗体を用いた、Hu 2nM で 24 時間処理した HeLa 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。